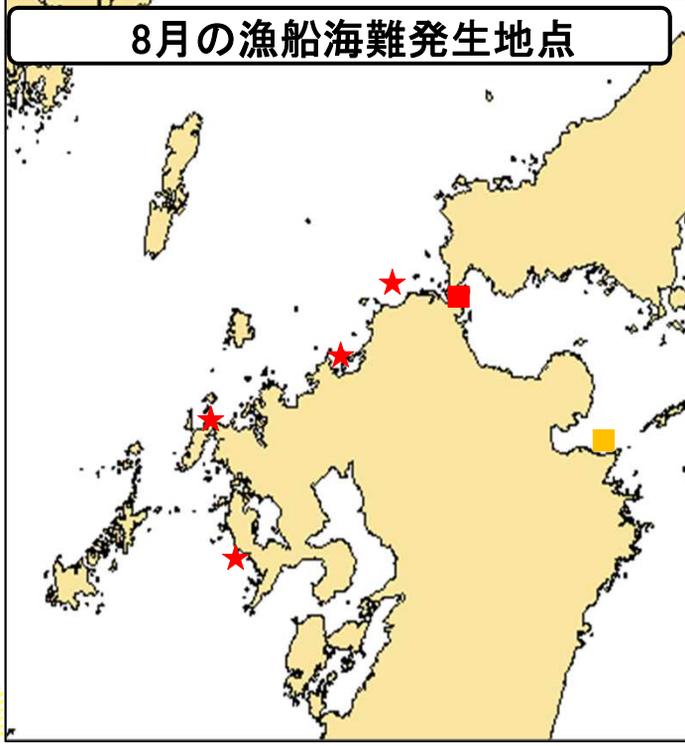


令和3年8月発生
七管内漁船海難 計6隻

令和3年8月累計 69隻 (前年 61隻)
漁船海難発生隻数は前年に比べ 8隻増加

漁船海難隻数 (速報値)			県別内訳	
			8月	令和3年累計
衝突	★	4	山口県 1	8 (9)
運航不能 (燃料欠乏)	■	1	福岡県 2	11 (14)
運航不能 (無人漂流)	■	1	佐賀県 0	3 (3)
			長崎県 2	36 (26)
			大分県 1	11 (9)
合計 6隻 (昨年 14隻) 死亡、行方不明者: 1件			合計 6隻	69隻 (61隻) ()は昨年同月

県別内訳表は、各県に所在する海上保安部署の担当海域にて発生した海難の合計数を示しています。数値は速報値です。



累計死亡・行方不明者数: 14名 (令和3年8月末日現在)

減らばい衝突、しっかり見張ってくれんね。

8月6日17:30頃、漁港を出港し、自動操舵で航行中に携帯電話の操作に夢中になり、見張りを行っていなかったため灯浮標に衝突する事故が発生しました。この事故を含め、今年の発生した衝突事故隻数は28隻となり、内24隻が見張り不十分が原因です。

24隻の見張り不十分の原因となった「衝突する直前の行動等」は右の表の通りです。

操船者は、操舵室に居ながらも、周囲の見張りが疎かになっていたか、そもそも別の作業等をして、見張りを全くしていなかったかのどちらかでした。

また、別の作業等を行っていたほとんどの操船者は作業直前に周囲を一瞬だけ確認し、自動操舵にして作業に没頭している傾向にありました。

衝突直前の行動(1人乗組)	隻数 (内自動操舵使用数)
・操船中(周囲不確認)	8隻(2隻)
・漁業に関する作業	4隻(3隻)
・食事(操舵室無人)	1隻(1隻)
・船橋後部で喫煙(操舵室無人)	1隻(1隻)
・漁業無線対応	1隻(1隻)
・携帯電話操作	1隻(1隻)
・居眠り	1隻(1隻)
衝突直前の行動(複数乗組)	隻数 (内自動操舵使用数)
・操船中(周囲不確認)	4隻(1隻)
・漁業に関する作業(全員作業)	2隻(1隻)
・居眠り(2名乗組、1名仮眠中)	1隻(1隻)

ひょっとして表中の事故につながる行動に心当たりがあったりしませんか？もし、心当たりがあるのであれば、たまたま事故に遭っていないだけです。周囲の見張りを確実に実施し、事故防止に努めましょう。